

道内企業も狙われていますよ！



道内企業のランサムウェア感染被害が発生しています！

ランサムウェアの感染被害は、**地域や業種・規模を問わず発生**しています！

道内企業のシステムがランサムウェア被害！！

ランサムウェアとは、金銭を脅し取ることを目的としたソフトウェアで、感染するとコンピュータ内のファイルが暗号化され、使用できなくなる上、暗号化の解除などの名目で「身代金」を要求される手口です。



発生要因/手口

- ①VPN等の周辺機器の脆弱性によりネットワークに不正侵入されて感染
- ②リモートデスクトップのID・パスワードを不正利用されて感染
- ③メールの添付ファイルや本文中のURLリンクを開かせて感染

【感染するとどうなる？】

- ①業務に必要なファイルやサーバが暗号化され、業務が停滞する
- ②取引先企業等に感染被害が広がってしまう可能性がある
- ③調査やシステムの改修、賠償等に多額の費用や時間を費やすことになる

感染リスクを減らすため

- ①VPN等の周辺機器やソフトウェアは適宜、修正プログラムを適用して脆弱性を残さない。
- ②パソコンや周辺機器のOS、ウイルス対策ソフトなどは常に最新の状態にアップデートしておく。
- ③リモートデスクトップのパスワードの複雑化や多要素認証の導入など、不正アクセス対策を行う。
- ④不用意にメールの添付ファイルや本文中のURLリンクを開かない。

万が一感染した場合に備えて

- ①重要なデータは必ずバックアップを取り、バックアップを取った媒体は、必ずネットワークから切り離して保管する。
- ②バックアップを使って復元する手順の確認と訓練を実施する。
- ③有事に備えて担当部門(CSIRT)を設置し、対応手順の策定や教育等を行う。

被害に遭った場合は、所在地を管轄する警察署に通報してください